



林野庁図書館ニュース

発行: 林野図書資料館

TEL: 03-3501-0964

森林・林業・木材産業

漫画・イラストをぜひご活用ください



林野図書資料館では、林野庁職員 平田美紗子氏の描くイラストを活用し、国民のみなさまへの森林・林業・木材産業の普及・啓発に努めています。その一環として、イラストの利用を希望する教育機関や団体、個人の方へ原画データの提供を行っております。さまざまな場面で活用されている、その一部をご紹介します。

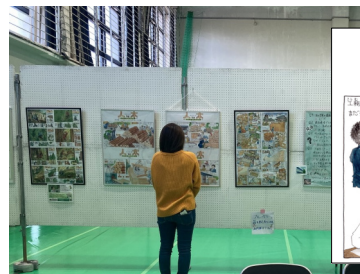
校外学習での活用（企業と教育機関の連携）

株式会社くりこまくんえんでは、校外学習で工場見学に訪れた小学6年生の児童たちに、地域の産業や環境の説明を行うため『森林業活用循環図』を活用していただきました。「わかりやすい図となっていて非常に説明しやすかった」との嬉しいお声をいただきました。



啓もう活動、社会貢献での活用

茨城県建築士会ひたちなか支部では、今年で第50回となる茨城県「東海村文化祭」に啓もう活動と社会貢献の一環として参加し、ワークショップでは公共施設の建設のために伐採した木材を利用してコースター作りが行われ、あわせて『お山ん画』『人to木』のパネルを展示していただきました。来場した子どもたちやその保護者から、漫画で大変わかりやすいと好評をいただきました。



普及啓発のための活用

(公財) 秋田県木材加工推進機構では、秋田県能代市道の駅「ふたつ」で開催された「2022あきた水と緑の森林祭」および同財団の「創立30周年記念式典」において、『お山ん画』『人to木』『木質ペレット漫画』を展示していただきました。

森林祭では、秋田県の皆さまへ「水と緑の条例」、「水と緑の森づくり税」、「緑の募金」の普及啓発を図り、県民参加の森づくりを推進することを目的として活用されました。また、同財団の記念式典においては、参加者への森林・林業・木材産業の周知アイテムとして、当館の漫画・イラストの存在を知っていただくことを目的として使用いただきました。

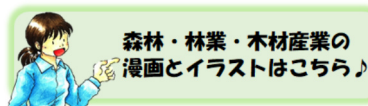


広報誌への活用

隠岐島後森林組合では、同組合の広報誌『隠岐の森だより』に『人to木』『お山ん画』を使用し、再造林支援事業での循環型林業の具体的なイメージとして、コンテナ苗生産販売事業で効率的な苗木の生産と植付け可能の説明のため、同組合の事業紹介に活用していただきました。



現在、データ提供のお申込みが特に多いイラストは、今年9月に公開された『森林業循環活用図』と『森林業循環活用図（SDGsとの関係）』で、説明する側、される側どちらからも「林業循環とSDGsとの関係性が分かりやすい」と大変ご好評をいただいております。イラストデータは、当館ホームページからダウンロードしてご利用いただけます。また、イベント展示等での拡大印刷など、より鮮明な画質のデータがご入用の際は、＜公開作品高画質データ申込みフォーム＞に必要事項をご入力の上、お申込みください。「〇〇のイベントで使えますか」などのご質問も受付ておりますので、お気軽にご利用ください。



<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/manga.html>





新着図書・注目図書のご案内



林野図書資料館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を揃え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

月刊建築ジャーナル7月号 特集：わがまちはなぜ木造にしないの？



脱炭素社会の実現や、国産木材の活用、人間的建築空間の実現といった観点から、公共建築を中心に、中大規模建築も木造で建てようという機運が高まっている。昨年10月の木材利用促進法改正でそうした動きは一般建築にも広がってきている。ウッドショックだと言うし高いのでは？地震や火事は大丈夫なの？音や温熱環境は？木造化を考えると浮かんてくるさまざまな疑問を、最新の情報を紹介しながら考えていきます。かたい都市からやわらかい都市への転換は可能か、木造建築の可能性を探ります。

出版社：建築ジャーナル
(2022年7月発行)

木のものづくり探訪 関東の木工家20人の仕事

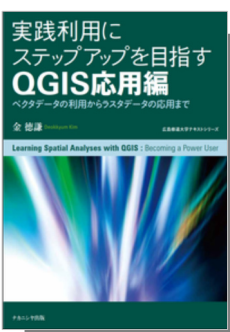


伝統の技、機能美、気品、遊び心—さまざまな要素が織りなす「木の逸品」を生み出す匠の真髄に迫ります。

家具作家から木漆工芸家、クラフト作家まで総勢20人のクリエイティブな木の作り手たちが登場。関東地方の工房を訪ねて聞いた、彼らの信念や創意工夫をていねいな取材で伝えます。

著者：西川栄明
出版社：創元社
(2017年11月発行)

実践利用にステップアップを目指すQGIS応用編



仕事や研究の現場で実際にQGISを使いこなすために— QGISの初歩の初歩を解説した入門編『これで使えるQGIS入門』に続いて、本書応用編では、道路や線路、駅などをより美しく表現するためのスキル、数値標高モデルを利用した陰影図のつくり方、コンビニの立地分析などQGISを利用した課題解決の方法などを詳しく解説。よりスキルアップを目指します。

著者：金 徳謙
出版社：ナカニシヤ出版
(2022年4月発行)

広報・PR論

パブリック・リレーションズの理論と実際 改訂版



広報・PR分野の好評テキストの改訂版。組織のリパブリック・リレーションズ（社会とのよりよい関係性を構築し維持すること）について、研究者の立場から隣接領域との関連性を意識して記述。事例や写真、図表も豊富に盛りこみ、組織の活動の実際がよくわかる。

著者：関谷直也、藺部靖史、北見幸一
伊吹勇亮、川北真紀子

出版社：有斐閣
(2022年9月発行)

歴史のなかの入会・入会権

評定所の享保期入会裁判、近畿地方の入会史



日本近世・近代の入会史のうち、これまで検討されてこなかった徳川幕府評定所の享保期における入会裁判、また、入会権に係わった山論などの裁判、さらに近畿地方の入会裁判・紛争や南方熊楠の森林環境保護思想などを紹介検討します。

著者：後藤正人
出版社：文理閣
(2022年9月発行)

新版 森林浴



森林浴の科学的根拠（エビデンス）、公園や緑地での森林浴の方法、森林浴旅行の楽しみ方、森林浴が行える日本各地の森林、緑地を掲載。自分や家族の健康増進に。第一人者による森林浴のすべてを網羅した一冊で、この本により、コロナ禍でも誰でも安心して森林浴を行えます。

著者：李 卿
出版社：まむかいブックスギャラリー
(2022年10月発行)

ひとかけらの木片が教えてくれること 木材 科学 歴史



何の木から作られているの？どこから運ばれてきた木材？顕微鏡やCTなどの科学的な方法で、仏像や神像、歴史的建造物、さらには木製の入れ歯まで、文化財に用いられたさまざまな木材の樹種を同定してきた著者が、これまでの調査で得た興味深い情報を紹介します。「人がいかに木に向き合ってきたのか」。その答えが、小さな小さなひとかけらの木片を見つめることで見えてきます。

著者：田鶴寿弥子
出版社：淡文社
(2022年8月発行)

大地の五億年 せめぎあう土と生きものたち



地球には最初、土がなかった。地球上に生き物が誕生し、遺体と岩石から土が生まれた。現在のところ地球は生き物が確認されている唯一の惑星であり、ゆえに土は地球にしか存在しない。ひたすらに土を食べて耕すミミズ、岩を食べるようになったキノコ、腐葉土を食べるカブトムシの幼虫…。土は植物や昆虫の躍進を支えるとともに相互に影響し合い、さらに恐竜の消滅や人類の繁栄に場所を貸してきた。身近なはずの「土」のことを、私たちはどれほど知っているだろうか。土の研究者である著者がスコープ片手に世界を飛び回り、土に残された多くの謎を掘り起こしていく。土と生き物たちの歩みを追った5億年の、そして未来へ向けたドキュメンタリー。

著者：藤井一至
出版社：山と溪谷社
(2022年7月発行)

連絡先：林野庁 企画課 林野図書資料館（国立国会図書館支部林野庁図書館）

代表：03-3502-8111（内線6060）ダイヤルイン：03-3501-0964

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html

